

令和8年度 松江ろう学校 重点目標

121年目の新たなスタート・「challenge (チャレンジ) ～挑戦してみよう!!」

「する」「みる」「支える」を合言葉に
やったことないこと、やってみよう!! 難しいことにもチャレンジしてみよう!!
チャレンジするみんなを応援します!! 一緒にやってみよう!!

- ・「する」・・・自分でやる(挑戦する)
- ・「みる」・・・挑戦している人を見る(応援する)
- ・「支える」・・・挑戦している人を支える(手伝う)

<グランドデザインより>

手と心でつながる わかりあえる喜び ～笑顔あふれる松ろう～

令和6年12月、松江市に(出雲市、益田市、吉賀町、津和野町に次いで)手話言語条例が制定されました。
同じ障がいのある仲間として、手話も大事にする人になってほしい。
ろうの方たちの豊かな手話表現を知ってほしい。

(1) 生き生きと学び合える学校へ:「協働的な学び」の推進と「個別最適な学び」の充実

地域・企業(ひと・もの・こと)から直接学ぶ体験の推進
教科等横断的な視点に立った教育活動の充実(総合的な学習(探究))の時間・特別活動
教育活動全体をととしたキャリア教育及び自立活動の指導の充実
子どもの自立と社会参加に必要な資質・能力を育む教育環境の整備
～外部人材を活用した性に関する指導、安全教育、情報教育、人権教育等に関する教育活動の実践

(2) 信頼され、ともに歩む学校へ:開かれた学校づくりの推進

PTA活動や家庭との連携のあり方等の改善・充実
学校・保護者・地域・企業による協働体制の整備～学校運営協議会
学校公開日等、積極的な理解啓発の場の設定
SNS等を活用した積極的な情報発信・理解啓発～学校HPやインスタの活用
地域交流活動、交流及び共同学習の推進
県東部の聴覚障がいのある子どもへの相談・支援の充実

(3) 互いに高め合い、支え合う学校へ:資質・専門性の向上

人権教育・啓発を推進する資質の向上
教員一人一人が「授業づくり・授業改善」について、実践をととして学び合う校内研究へ
自立活動および教科指導のOJTの活性化
聴覚障がい教育及び教科指導等に関する専門性の追求(手話力向上、ろう免許取得、専門研修受講奨励)
～聴覚障がい専任教員2名を中心にした相談・支援体制の充実